



ESD21 国際事業ハイブリットセミナー

— 「技術力の向上を目指す中小製造業と 外国人技術系社員」 —



2023年9月25日 14:30~16:30

主催：一般社団法人持続可能なモノづくり・人づくり支援協会（略称ESD21）

後援：一般社団法人愛知県鉄工連合会

開会挨拶と 本日のイベント 企画について

一般社団法人持続可能なモノづくり・人づくり支援協会
(略称ESD21)

顧問・理事 鈴木 明夫

本日のプログラム

- 開会挨拶と本日のイベント企画について（10分）

ESD21顧問・理事 鈴木明夫

- 講演

①中京大学総合政策学部 教授 経済学博士 弘中史子氏
ー「中小企業と外国人技術系社員：技術力の向上をめざして」
（30分）

② モーヤンジャパン（株） 取締役トウトウフライング氏
ー「ミャンマー人高度人材の採用動向と成功事例」
（30分）

③（株）ANCジャパン 取締役海外統括部長
マルディアンシャ・マルディス氏
ー「インドネシア人高度人材の採用動向」 （30分）

- 質疑応答（20分）

（Zoomでご視聴の方からのご質問はチャットでお願いします）



一般社団法人

持続可能なモノづくり・人づくり支援協会（略称ESD21）

Association for Support of Economic Sustainable Development for 21st Century

ESD21の新しい風を、企業に、地域に、そして国の未来へ

1. 非営利団体として2010年に設立
（会員数：法人50社、個人100名）

2. ミッション：
TPSの基本「モノづくり」と「ソフトづくり」
によるデジタル化で企業変革（DX）支援や
会員相互のコラボレーション機会の提供や
個人会員のQOL向上等豊かな社会に貢献

3. 役員：



会長 蛇川忠暉 代表理事 黒岩 恵 顧問・理事 鈴木明夫
（元トヨタ副社長） （トヨタOB） （豊田通商OB）

事務局長（理事）堀田茂雄（ジェイテクトOB）

理事：14名 評議員：11名

A.特別企画事業：

B.テーマ事業：

①TPS/Lean

事業

（品質の向上、
生産性の向上、
納期の短縮）

②DX

関連事業

（デジタルを
活用した提供
価値の変革）

③国際

事業

（最新情報
交換会開催
や研修支援）

本日のイベント企画について

昨年（22年）4月から本年3月までの1年間の一般財団法人商工総合研究所（商工中金グループ）と一般社団法人中小企業産学官連携センターの共同調査PJにESD21として協力しました。

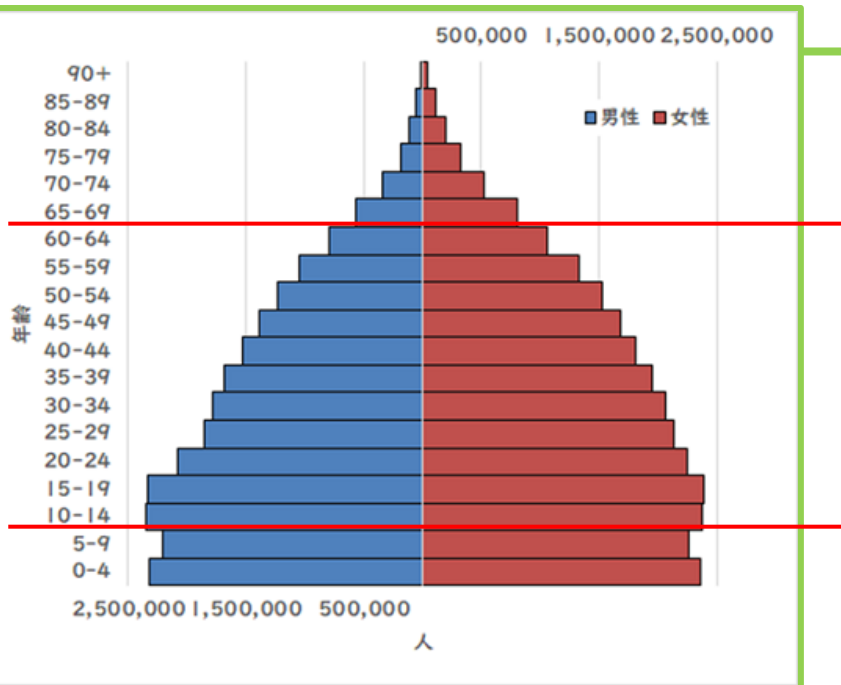
今回その調査団のメンバーの中京大学弘中教授他関係者を講師にご登壇願いたい外国人高度技術社員の雇用が中小企業の研究開発や製造部門の慢性的な人材不足解決に有力な選択肢になるものと考え企画したものです。久しぶりにミャンマーも話題として取り上げました。

なぜESD21が
2010年前後
以降、国際事業
(三ツツンマー)を
始めたのか？

2011年までの軍事政権による鎖国政策から、改革開放路線に舵を切り、日本の政府もメディアも企業も「人口5千万人を擁する最後のフロンティア」と呼び、日本の1.8倍広い国土、資源豊富、低賃金（大卒初任給も2~3万円/月）、人口ボーナスが2053年ごろまで継続すると予測、有望な国と判断。消費市場を狙った投資が相次いだ。

*人口ボーナス（期）」とは、生産年齢人口（15歳以上65歳未満）がその他の人口の2倍以上ある期間のことを指す

ミャンマーの人口ピラミッド（2019年）

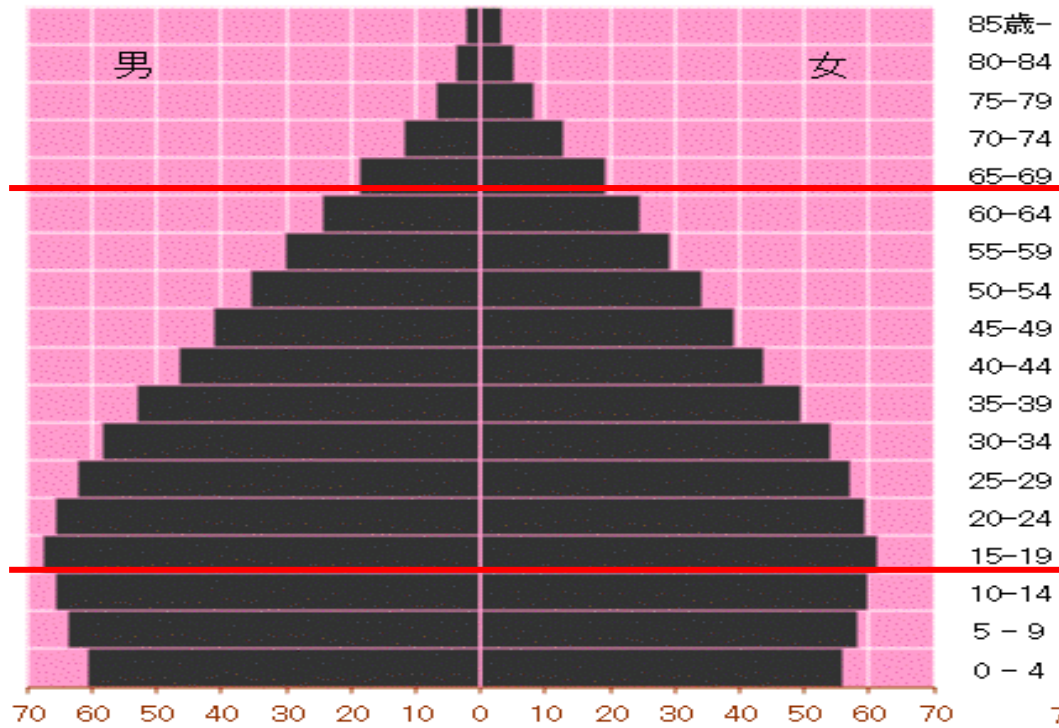


ESD21 国際事業をミャンマーの豊かで勤勉、低廉な労働力を活かし製造業重点の国づくりのためのモノづくり・人づくり支援活動を開始した。

参考：インドの人口ピラミッド（2020年）

国連データによる

総人口:139,639万人 65歳以上人口比率:6.7%



インドの「人口ボーナス期」は、2017年に始まり、2030年前半まで続くと思われる。



潜在力を秘めた経済成長率予想No.1?

ESD21のミャンマー事業活動の一部



①セミナー



280名

2011年11月(ヤンゴン) 300名



2012年3月(ヤンゴン) 400名

2012年3月(カイン州) 150名



②現場研修指導

STUDY & TRAINING FOR TPS/LEAN SYSTEM



TOYOTA 2019年12月

③交流ミッション



④セミナー報告会



ESD21法人会員の協和工業様タイ工場の補完
仕事のミャンマー移転のF/SをESD21との
共同で実施。

2014年

 **KYOWA**

タイ工場(TKG)




- 工科系大学卒の優秀な技術者は多くいるも仕事がない
- 部品・機械産業の基盤がない
- 中国製中心にアセアン各国から輸入が主体
- 長年の経済制裁により製造業が育っていないーこの間中国が進出（CKD）
- 最貧国 だが何か豊かさがある安心感がある
- アセアン統合を機に飛躍の可能性



拠点づくり、委託加工、技術供与、パートナー探しは当面困難であるも
ミャンマーとの関係をつくり勉強するために優秀な技術社員を採用するこ
とが適切と判断。

ミャンマー人の気質を活かし、日本式の工場運営方法やカラクリ等の改善
手法を日本で伝授し、近い将来の現地のリーダーとなり現地スタッフと共
に現地での企業文化を造りあげる。

 2018年3名の技術社員を採用した。詳細はモーヤンジャパンから。

クーデター後
のミャンマー
はいま？

ミャンマーの人材状況

大学既卒の優秀な学生は海外での就職先をアメリカ、シンガポール等給料が高い国や日本語を勉強し日本へ行くチャンスを探しており、高度技術社員の雇用が中小企業の研究開発や製造部門の慢性的な人材不足解決に有力な選択肢

時代の変化をチャンスに変える！



短い時間ではございますが、
当イベントが皆様にとりまして
有意義な時間となりますことを
願っております。